



令和3年度川俣町立福田小学校学校だより

しらすぎ Kids NO. 24

令和3年10月8日

文責:校長 神尾孝弘

豊かな学びを地域とともに

6年生は防災学習の一環として、「ふくしまにぎわいらボ(F-lab)」の皆さんと協同して、川俣町の特産品である川俣シャモを活用した防災食を考える学習を進めています。



10月4日(月曜日)。川俣町農業振興公社の渡辺社長をゲストティーチャーにお迎えして、特別授業を行いました。また、オンラインで「ふくしまにぎわいらボ(F-lab)」の皆さんにも授業に参加していただき、意見や考えを交流しました。

子どもたちは、自分たちの出したアイデアが農業振興公社の新商品になり、地域の防災と活性化に役立てればと考えています。そこで、授業の中で、自分たちの考えたアイデアを渡辺社長に提案し、商品開発の具現化に向けて、アドバイスをいただくことになりました。

偶然にも、農業振興公社の皆さんが進めている新商品開発と子どもたちのアイデアが一致する部分があり、試作品も完成しているとのことでした。授業の中で、その試作品(川俣シャモを使ったレトルトのハンバーグ)も試食させていただきました。試作品のおいしさに、思わずみんなが笑顔になりました。

今後も、農業振興公社やふくしまにぎわいらボ(F-lab)の皆さんと一緒に、災害時でもみんなが笑顔になれるような新商品の開発に向けて学習を進めていきます。自分たちの学習が地域のためにかかされるという経験を通し、ふるさとへの愛着や誇り、自己有用感等を体得していってほしいと思っています。



【ゴミ処理場見学】



10月7日(木曜日)。県の非常事態宣言により延期になっていた4年生のゴミ処理場見学を実施しました。収集車からゴミがピットにおろされる場面や、処理施設に様々なゴミが集められている様子、処理されるゴミの量の多さなどを実際に見ることができました。また、家庭でゴミを分別する意義や、プラゴミや瓶などを洗ってから出す必要性など五感を通して理解することができました。

ゴミ処理の実際の現場を見学したことで、新たな疑問やさらなる発見も生まれました。お世話いただいた伊達地方衛生処理組合の皆さんのご協力により、子どもたちにとって、より深い学びにつながる見学学習になりました。

